

製品名: EphA3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10518**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	EPHA3 EPHA3; ETK; ETK1; HEK; TYRO4; Ephrin type-A receptor 3; EPH-like kinase 4; EK4; hEK4; HEK;
別名	Human embryo kinase; Tyrosine-protein kinase TYRO4; Tyrosine-protein kinase receptor ETK1; Eph-like tyrosine kinase 1
遺伝子 ID	2042.0
SwissProt ID	P29320
免疫原	EphA3 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 540-620

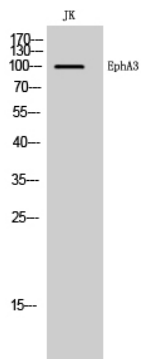
背景

この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。EPH および EPH 関連受容体は、特に神経系において、発達過程の媒介に関与していることが示唆されています。EPH サブファミリーの受容体は、典型的には単一のキナーゼドメインと、システインリッチドメインおよび2つのフィブロネクチンタイプ III リピートを含む細胞外領域を有します。エフリン受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分類されます。この遺伝子は、エフリン A リガンドに結合するタンパク質をコードします。この遺伝子には、2つの選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。、疾患: EPHA3 の欠陥は結腸直腸癌 (CRC) の原因となる可能性がある [MIM:114500]。機能: エフリン A ファミリーのメンバーの受容体。エフリン A2、-A3、-A4、および-A5 に結合します。リンパ機能において役割を果たす可能性があります。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。、類似性: SAM (無菌 α モチーフ) ドメインを 1 つ含む。、類似性: フィブロネクチン III 型ドメインを 2 つ含む。、組織特異性: 広く発現している。胎盤で最も多く発現する。、

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



EphA3 ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析